



2025 年 6 月 25 日

各 位

会社名 大黒屋ホールディングス株式会社

代表者名 代表取締役社長 小川 浩平

(コード番号:6993 東証スタンダード市場)

問合せ先 財務経理部マネージャー 今長 岳志

(TEL 03-6451-4300)

当社連結子会社の株式会社大黒屋におけるオートビット自動買取機能の導入とその概念実証(POC)の成功についてのお知らせ

2025 年 5 月 15 日付「当社連結子会社の株式会社大黒屋における中期経営計画の(2025～2029)」の見直しのお知らせ」で、見直した大黒屋の中期経営計画に位置付けている「AI による自動買取オファー」(P11、12)について、この度、大黒屋が、その概念実証(POC)に成功しましたので、お知らせいたします。この概念実証では、オファー期間 3 日のうちに、約 24%が承諾され、即時商品が届くということが論証されました。

このオートビット自動買取により、競合他社が追随できないゲームチェンジャーとなる、AI による査定・値付けや不正検知アルゴリズムシステムの概念実証ができたことになります。これにより、ブランド品買取として、最大年間 856 億円規模に相当する自動買取オファーが実行可能になります。

記

1. オートビット自動買取機能

大黒屋では、この度、EC サイト上に出品された商品データをリアルタイムで分析し、最新の市場価格に基づいた買取価格を提示する、従来の査定・買取プロセスに比べ、換金のスピード及び利便性が大幅に向上する、オートビット自動買取機能を導入し、5 月 26 日(月)～28 日(水)に概念実証いたしました。

<オートビット自動買取を含めた新たな AI システムの詳細機能等>

①AI による全商品分析

大黒屋が EC 経由で買取オファーを出す全商品を AI で分析し、査定金額に応じて自動で指値での買取オファー

②高度な AI 技術の活用

大黒屋の店頭買取チームによるデータ補正とフィードバックにより、AI の精度を継続的に向上

③リアルタイムデータ処理

大黒屋が EC 経由で買取オファーを出す全商品のリアルタイムデータ入手、Google Vision AI による入札、大黒屋の鑑定士による入札値の補正など、高度な自動化システムを構築

④処理能力の飛躍的向上

Google Vision AI を通じて、1 日あたり最大 10 万件（理論値）の商品情報を抽出しての買取オファー処理

⑤買取・出品プロセスの省人化

商品情報の特定を AI で自動化することにより、大黒屋の鑑定士は査定・真贋鑑定のみに注力。商品出品の際の登録も AI により自動化し、スタッフはデータの補正・確認のみで出品が可能

⑥不正利用者の自動検知

プラットフォーム上の商品情報の自動検出により、信頼性の高い利用者を判断。他社の写真利用や商品写真と記載されている商品情報の齟齬を抽出

2. オートビッド自動買取機能の概念実証（POC）の結果

このオートビッド自動買取機能を導入した新たな AI システムを、5 月 26 日（月）～28 日（水）に、EC サイト上で概念実証いたしました。5 月 27 日には、1,452 件の自動オファーに対し、353 件の買取が成立、承諾率は 24.3%、買取総額は 34,035 千円となりました。平均単価 9.6 万円であったので、計算上では、想定オファー金額は 139,997 千円となります。

AI オートビッド自動買取実績

	5 月 26 日 (Day1)	5 月 27 日 (Day2)	5 月 28 日 (Day3)
1 日オファー件数 （単位：件）	1,310	1,452	1,071
承諾件数 （単位：件）	265	353	239
承諾率	20.2%	24.3%	22.3%
1 日買取総額 （単位：千円）	24,398	34,035	17,576
平均買取単価 （単位：千円）	92	96	74
理論上単日オファー総額（単位：千円）	120,609	139,997	78,761

※オファー件数×平均買取単価

3. 今後の展開

大黒屋では、今後は、この結果も踏まえ、他の企業との提携の拡大も図りながら、本機能による1日あたりの自動買取オファー数を当面1万件規模まで拡大し、1日あたり最大2.3億円、年間では856億円規模の買取総額となることを目指します。

今後実施していく予定

	フェーズ①	フェーズ②	フェーズ③
1日オファー件数（単位：件）	3,000	5,000	10,000
平均買取単価(Max)（単位：千円）	96		
承諾率(Max)	24.3%		
1日買取総額(Max)（単位：千円）	70,320	117,200	234,401
理論上年間買取総額(Max)（単位：千円）	25,666,890	42,778,151	85,556,302
理論上単日オファー総額(Max)（単位：千円）	289,249	482,082	964,164

※オファー件数×平均買取単価

このオートビット自動買取機能の導入と概念実証の成功により、「大黒屋中期経営計画（2025～2029）」の目標達成に着実に近づいたこととなります。

（参照）別添参考資料「大黒屋中期経営計画（2025～2029）」の一部変更資料

4. 今後の見通し

このオートビット自動買取機能導入の概念実証の結果、買取総額が大きく伸びるポテンシャルがあることが分かりましたが、今後の進捗を踏まえ、他の要件等が満たせる環境を整備していきながら、2026年3月期の見通しを修正する必要性が生じましたら、速やかに開示いたします。

5. 子会社の概要

- （1）名称：株式会社大黒屋
- （2）所在地：東京都港区港南四丁目1番8号
- （3）代表者の役職・氏名：代表取締役社長 小川浩平
- （4）事業内容：古物商、質屋業
- （5）創業：1947年4月
- （6）設立：1953年1月
- （7）資本金：318,095千円

以上

● 大黒屋の強み | AIによる自動買取オファーによる効果

参考資料

買取オファー

100万件/日

一日あたり最大100万件、
プラットフォーム上の
商品情報を自動抽出

・
・
・

独自のデータベースを参照し、
市場の需要・価格等から
優先すべきオファー先を自動選別

10万件/日

一日あたり最大10万件、
プラットフォームで
買取オファーを自動実行

1万件/日

実績として
承諾率24.3%/単価9.6万円を記録

潜在的には
最大20億円/日 7,300億円/年の買取が可能

不正検知

自動で
不正利用者を
検知

- ・プラットフォーム上の商品情報の自動検出により、信頼性の高い利用者を判断
- ・他社の写真利用や、商品写真と記載されている商品情報の齟齬を検出

オペレーション効率化

買取

商品の写真から商品情報を自動で特定

出品

ECサイトへの商品出品時における、
商品情報の登録を自動化

非属人的
作業を自動化

- ・熟練スタッフは、真贋鑑定のみ注力可能
- ・データの補正/確認のみで、上記業務を効率化

● 大黒屋の強み | AIによる自動買取_処理件数

AIによる自動買取オファーにより、一日あたりの処理件数は飛躍的に増加。人員数に制限を受けることなく、事業の拡大が可能

AIと人力での想定処理件数/日

AIによる自動化

一人当たり件数

商品情報の抽出

100万件

画像診断を行い、商品情報を自動で抽出
=千人力

1,000~2,000件

オファー先の選別
(=商品の簡易査定)

自動で査定
データベースを参照し査定を実施

目視で商品情報を確認
データベースを見合わせながら
査定を実施

買取オファー

10万件

有効なオファー先から自動で実施

10~20件

承諾/買取

1万件

実績から推定

2件程度

● AIによる買取実績と今後の予定

実績

	5月26日 (Day1)	5月27日 (Day2)	5月28日 (Day3)
1日オファー件数（単位：件）	1,310	1,452	1,071
承諾件数（単位：件）	265	353	239
承諾率	20.2%	24.3%	22.3%
1日買取総額（単位：千円）	24,398	34,035	17,576
平均買取単価（単位：千円）	92	96	74
理論上単日オファー総額 （単位：千円）	120,609	139,997	78,761

※オファー件数×平均買取単価

ベストパフォーマンス

- ・承諾率：24.3%
- ・平均単価：9.6万円

今後実施予定

	フェーズ①	フェーズ②	フェーズ③
1日オファー件数（単位：件）	3,000	5,000	10,000
平均買取単価(Max)（単位：千円）	96		
承諾率(Max)	24.3%		
1日買取総額(Max)（単位：千円）	70,320	117,200	234,401
理論上年間買取総額(Max) （単位：千円）	25,666,890	42,778,151	85,556,302
理論上単日オファー総額(Max) （単位：千円）	289,249	482,082	964,164

※オファー件数×平均買取単価

- ・単日買取金額 2.34億円
- ・年間買取総額 856億円へ

● AIによる買取件数及び規模の拡大

① ECサイトとのPoC実施(5/27段階)

1,000件超のテストで需要を実証

ECサイト内にて1,000件超の自動オファーでテストを実施。ブランド品を即日売りたいユーザーが約24%潜在することが実証

② 自動買取オファーの座組拡大(7月以降)

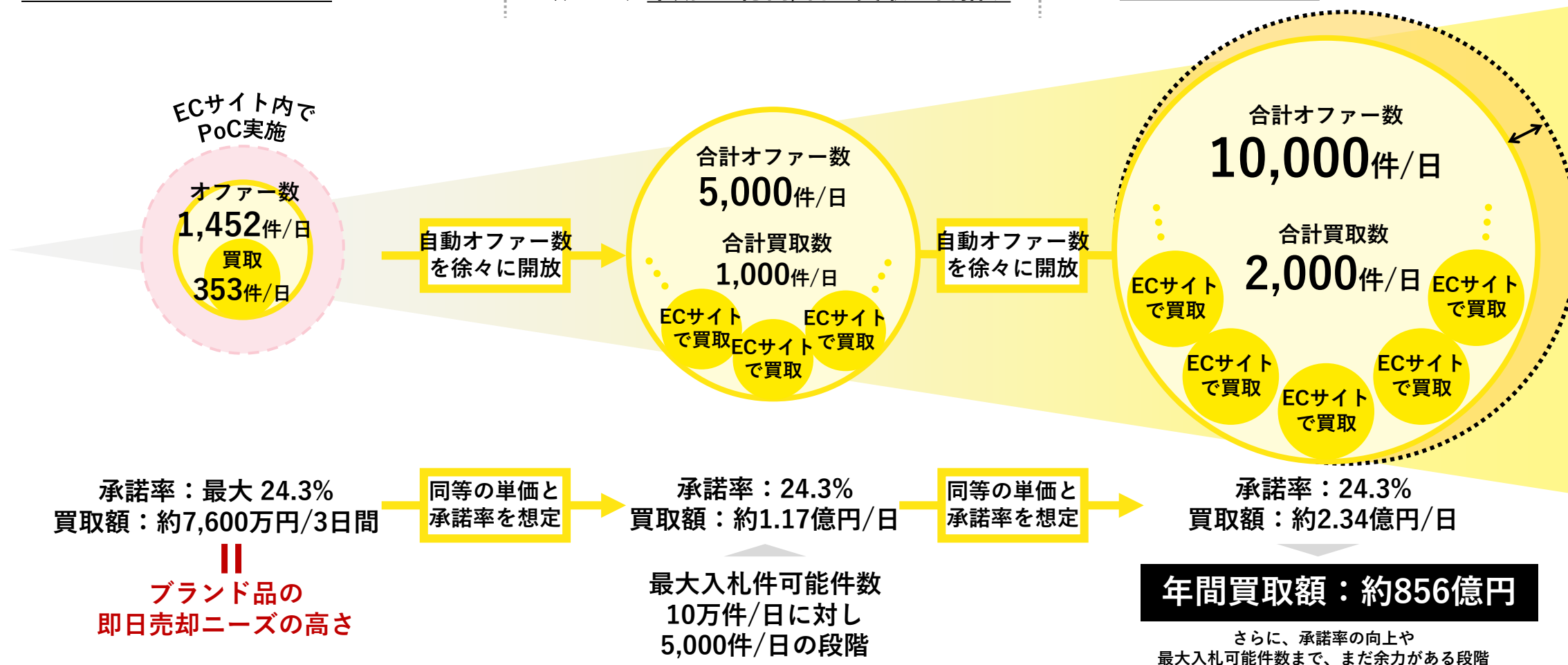
1億円/日まで自動オファーを増加

技術上は最大10万件/日までオファー可能。
複数ECサイトにて段階的にオファーを増やし、早期に1億円/日の買取を目指す

③ 買取総額の最大化

更なる改善により 年間856億円へ

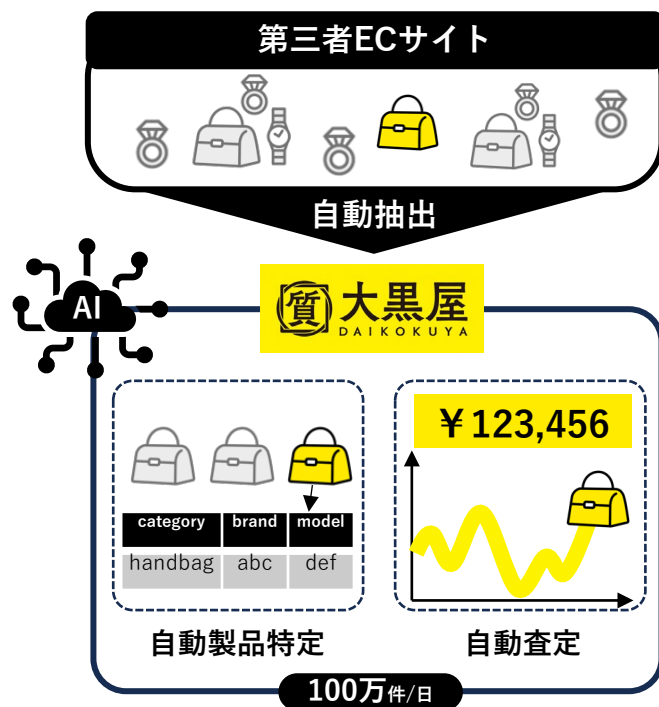
以降、協業先の拡大や、オファー件数の増加、買取オファー効率(=承諾率)の改善を重ね、年間856億円規模を目指していく



● 参考 | AIによる買取フロー

STEP 1

第三者のECサイト上の商品を
AIで自動抽出 & 自動査定



100万件/日 自動抽出

STEP 2

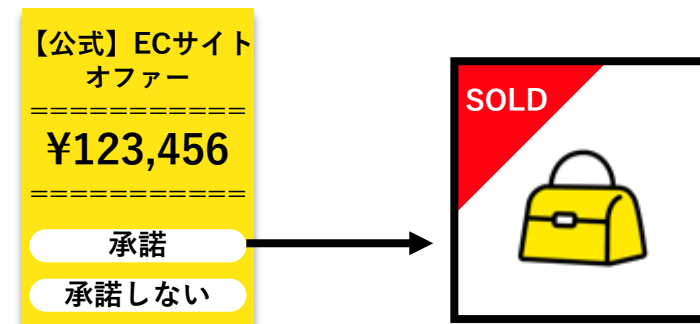
第三者のECサイトで、
サイト自体から
商品の持ち主に買取オファー



1万件/日 買取オファー

STEP 3

金額が承諾された場合買取
(承諾しない場合は継続出品)



2.34億円/日 買取

2,000件/日 買取

●参考 | 不正検知

ECサイト上の商品を、画像処理を行う過程で、不正出品者の検出が可能。

API経由で、AIで信頼性を判断で来た商品に対してはバッジを付与するなどを行い、不正出品を減らす取り組みも検討

当社AI

画像処理機能

- ・ ECサイト上の商品のAIにより画像処理を行っており、ブランド品だけを抽出している。
そのうち、Google vision AIで商品/出品者/当社データベースにより有効なものだけを抽出



ECサイト上の商品を診断するため、結果的に、不正出品者の検出も実行している

- ・ オートビットを実行することで、信頼性の高い売り手にオファー
- ・ APIで当社AIで信頼性を判断

特に上記により、物を所有せずに、写真及び属性を掲載するなどの不正出品、返品詐欺を減らすことができる。

● 目指す世界-大黒屋がAIによって目指す買取の多角化

オフライン(店舗)での買取多角化だけではなく、オンラインでも買取を広げていき、中古品市場だけでなく、提携を通じて日本経済全体の活性化に貢献する

個別提供

プラットフォーム化

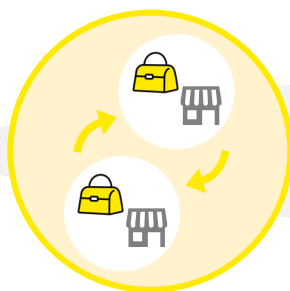
LEVEL1

LEVEL2

目指す姿

ブランド品/個社

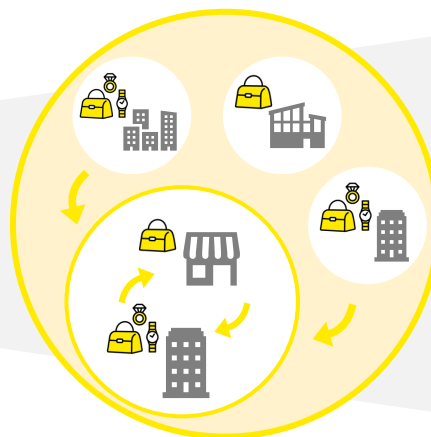
ブランド品を中心とした買取機能の
個別提供



データ整備

日用品/複数社

アパレルや家電などの非ブランド品まで
査定対応領域を広げ、
提携先同士の協業まで拡張



価格設定エンジン 強化

自動買取プラットフォーム化

自動査定をオンラインまで拡張し
あらゆるプラットフォームでも
買取を促進していく



Vision AI 強化

リコmendモデル 強化

顧客コミュニケーション 強化

● AIシステム_概要

大黒屋の開発したAIシステムは、プラットフォームにおいてユーザー体験を損なうことなく大きな効果を見込むと史料

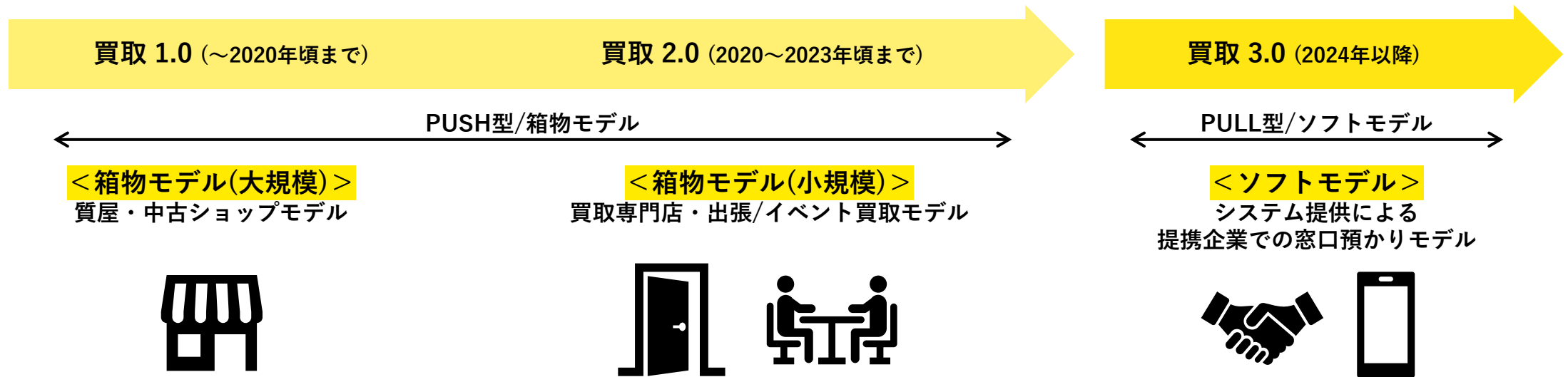
当社開発AIシステム

画像診断によるAI査定	VISION AIを活用したAI即時査定システムを用い、プラットフォーム上の商品を対象に一日あたり100万件の画像診断が実施可能
不正商品の自動検知	他者の画像を使用し出品を行っている場合は、自動で不正を検知
オファー先の自動選別	当社独自のデータベースの商品情報をスクレイピングすることにより、市場の需要・価格等から流動性を向上すべき有効なオファー先を自動で選別
AIによる自動オファー	- 出品者に対してAIで買取価格を自動オファーすることが可能 - 将来的には一日あたり10万件(年間3,650万件、単価を5万円とした場合、1兆8,500億円)の買取オファーの提示ができる見込み

● 目指す世界-成熟化した企業の活性化

今の時代に即した”PULL”型の機能提供を重視し、様々な店舗業態と提携を行ない、消費者の日常動線上にシームレスに進出していく。提携企業は報酬獲得と買取代金を原資とした自社商品購入の促進にも繋がり、企業成長が日本経済全体に波及していく

当社が考える買取モデルの変遷



- ✓ 本モデル実現には、買取機能だけでなく、買取オペレーション機能も必要であり、大黒屋は双方を即時提供可能である。提携先の事業活動に即した柔軟なオペレーション提供で事業拡大に貢献し、店舗を保有する企業を中心とした成熟化した企業及び日本経済の活性化に貢献していく
- ✓ ソフト提供のみで良いため、人件費や物流費、店舗スペースなど様々なコストを削減し、同時に提携企業は店舗面積を有効活用でき、収益性向上も実現